

会報 いわて



一般社団法人

岩手県臨床検査衛生検査技師会

迎春

本年もよろしく願いたします



新年のご挨拶

一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
会長 高橋 一博

会員・賛助会員の皆様、日頃当会の活動に対し多大なるご協力、ご支援を頂きまして誠にありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、岩臨技では令和6年10月19日に設立70周年・法人化35周年記念式典、記念祝賀会を盛岡市で行われた第27回岩手県医学検査学会と同時に執り行いました。ご参加された皆様、ご支援頂きました皆様、無事に終わりました事をご報告申し上げます。

今年の活動と致しましては現在周年記念事業の一つとして記念誌の作成に取り組んでおります。前回発行されたのが50周年記念誌でしたので、実に20年ぶりとなると思います。この20年には大変な大災害を経験致しました。当時の記録は今でも映像等でみることができますが、会としての活動記録が事務局に見当たらず、編集に少々難儀しております。もう少しお時間を頂きたいと思います。発行は事務局での記録、保管用として少数製本致しますが、会員方々への送付は行わずPDF形式でホームページよりのダウンロードと致します。この記念誌の発行を持ちまして周年記念事業の終了とさせて頂きます。

次にですが、会員施設数、会員数の推移の傾向に伴い、現在5地区ある地区割の見直しを検討しております。地区割の中には地区総会・地区研修会の実施、県学会の分担開催、地区毎の定数による理事選出、各地区活動費の分配等があります。この中で新型コロナウイルス感染症に対応するため、zoom等を用いたweb会議・研修会が定着した今、人数の少ない地区の負担を減らすため、地区割を変更する時期が来たのかと思います。実施には常任理事・理事で素案の検討を行い、総会の議決を経て一般社団法人として定款の変更が必要になります。成立には正会員の2/3以上の賛成が必要です。案が出来た時点でホームページによりお知らせを致しますので、会員皆様それぞれのご検討と総会へのご参加をお願い致します。

また、災害時に運用される災害対策協定を岩手県と締結することを目指しております。災害発生時に如何にして県民医療を守り、災害関連死を減らしていくかは当会の重要な使命と考えております。このため、昨年6月には県の保健福祉部と打ち合わせを行っており、今後協定締結に向け検討を進めて行きたいと思っております。

結びとなりますが、本年も常任理事、理事、部門長、部門員一同で会務にあたります。いままで整備されていなかった事も少しずつ進めてより良い会にしたいと考えております。会員並びに賛助会員の皆様におかれましては変わらぬご協力・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



(い わ て)

第 27 回岩手県医学検査学会・岩臨技設立 70 周年・法人化 35 周年記念事業

記念式典の中で活動に貢献された方の表彰を行いました

令和 6 年 10 月 19 日に行われた学会中の記念式典で各地区会長から活動に貢献された方を推薦して頂き、特別表彰を行いました。

特別表彰および功労者の皆さまをご紹介します。

特別表彰 盛岡地区 石澤 毅士 様
中部地区 岩渕 義文 様
南部地区 細川 裕史 様
三陸地区 紺野 利一郎 様

功労賞 畠山 秀樹 様
櫛桁 久美 様



表彰者および推薦理由

【特別表彰】

盛岡地区 石澤 毅士 様

岩臨技の所属自体は 4 年 3 か月と短い期間ではありましたが、一般検査部門では部門長として 3 年間活動していただき、その間に学術面で残したインパクトと功績は多大なものがありました。全地区において研修会を巡業していただきました。また、全国で活躍されている著名な先生方々を講師として招き入れていただきました。盛岡地区のみならず、各地区へ貢献していただいた方として盛岡地区から推薦させていただきます。

中部地区 岩渕 義文 様

岩臨技副会長を 2011 年から 2012 年の 2 年間歴任され、中部地区技師会の理事として長年にわたり活動されています。学会や研修会開催などの技師会活動に尽力され多大なる貢献に対して中部地区より功労者推薦させていただきます。

南部地区 細川 裕史 様

令和 5 年に退職されるまで長年ご活躍され、近年は南部地区会長として皆をまとめ岩臨技南部地区の円滑な運営に貢献されました。

岩手県医学検査学会では実行委員長としてご尽力いただきました。

物事を多角的に捉えメリット・デメリットを分析し適切な助言を何度もいただいた細川裕史さんを南部地区から推薦いたします。

(い わ て)

三陸地区 紺野 利一郎 様

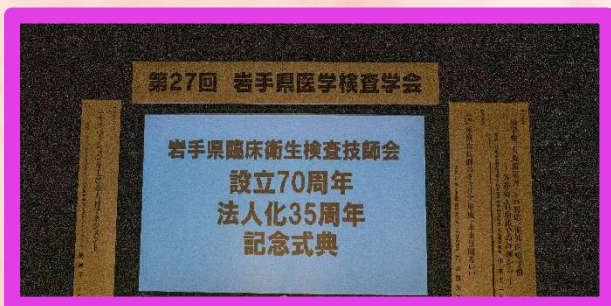
三陸地区の地区会長や地区役員を長年にわたり、引き受けていただきました。今回、地区の功労者を選定するにあたり、皆さんにアンケートを取りました。その中で、地区へ貢献していただいた方として皆様からのご意見が多かったのが紺野さんでした。三陸地区を代表し、長く活動されてきたという点が推薦理由となります。

【功労賞】

畠山 秀樹 様 岩臨技諸規定：表彰規定第4条の基準を満たしているため

櫛桁 久美 様 岩臨技諸規定：表彰規定第4条の基準を満たしているため

皆様おめでとうございます。そしてありがとうございました。



(い わ て)

タスク・シフト / シェアに関する厚生労働大臣指定講習会 (岩手県 005)
の感想が届いています

令和6年11月24日に開催された『タスク・シフト/シェア実技講習会』の感想をいただきました

三愛病院 佐々木 茜

Webによる基礎講習聴講に長い時間を要してしまい、記憶が薄れて不安の中、実技講習会に参加しました。実技講習会は3グループに分かれ、3つのコンテンツをローテーションで順番に受講し、効率的にスムーズに受講する事ができました。また実技前に実技動画視聴や講師の先生方の説明があったため、安心して実技に挑めました。静脈路確保では看護師の手技を見る機会はありませんでしたが、実際に行ってみると採血より手技が多く難しく感じました。基礎講習では易しくみえた手技も実際に実習すると大変なこともあり、経験が必要だと思いました。法改正により臨床検査技師が患者さんと向き合う機会が増えると感じています。患者さんに安心して検査を受けていただくためには、経験を積み熟練した検査技術が必要であること、患者さんへの十分な説明や声掛けが大切であると実感しました。講習会開催にあたり講師をしてくださった先生方、実務委員の皆様には感謝申し上げます。

岩手県立中央病院 診療支援部 臨床検査技術科 小田原 聖

11月24日に開催された『タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会』に参加した。WEBによる事前講習は今年の5月に修了していたが、前任地では実技講習会の申込みが早期に満席を迎える状況で、今回ようやく受講することができた。しかしながらWEB講習から一年半の期間が開いたため、内容の大半を忘れており、実技講習においてはただ『言われるがまま』に内容を消化するのみとなってしまったことは、反省すべき点であった。

いずれの講習内容も大変に重要で、また、これまでに業務においても触れることのなかった領域であるだけに、今後、実際の業務となった際には、十分な知識と技量をもって携わることができるとは甚だ疑問である。今回の講習の内容を復習し、今後の『いざ』に備えたい。

冒頭の『3. 成分採血(アフエレーシス)のための行為』では、前職で携わっていた血液成分採血装置のオペレーティングに加え、採取のための静脈路確保ならびに回路の接続も業務範囲に含まれるとのことであった。輸血・細胞治療に従事する身とあっては、本講習の内容こそ喫緊の課題であるため、早急な知識・技術の習熟に努めたい。

(い わ て)



研修会情報

【研究部門研修会】

令和6年度 岩臨技 第2回生理機能部門研修会

日時：2025年2月1日（土）12:30～15:00

会場：都南公民館（キャラホール）第1研修室

内容：講演Ⅰ「VA エコー の基礎 （仮）」

講演Ⅱ「当院における VA エコーの現状 （仮）」

ハンズオン（シャントのある方にモデルをお願いしています）

※ 申込開始：1月4日（申込順先着10名）

<http://www.iwateamt.or.jp/event/2957>

令和6年度（第30回）岩臨技精度管理調査報告会・総合管理部門研修会

日時：2025年2月8日（土）13:00～16:00

会場：ハイブリッド開催（現地：リリオ、Web：Zoom 使用）

内容：精度管理調査報告会「精度管理調査報告」

総合管理部門研修会「これからの精度管理を考える」

<http://www.iwateamt.or.jp/archives/2947>

【地区研修会】

令和6年度第5回中部地区技師会研修会

日時：2025年2月20日（木）17:00～17:30

会場：Web 開催（Zoom 使用）

内容：「広がる甲状腺の医療連携（地域医療を中心に）」

<http://www.iwateamt.or.jp/event/2992>

第78回盛岡地区技師会研修会

日時：2025年2月22日（土）10:30～11:30

会場：Web 開催（Zoom 使用）

内容：「こんなときどうする、髄液検査」

<http://www.iwateamt.or.jp/event/2994>



(い わ て)

【後援】

令和6年度感染症検査ネットワーク研修会

日時：2025年3月1日（土）13:30～16:30

会場：岩手県環境保健研究センター

内容：「やってみよう！グラム染色検査

－標本の作り方、グラム染色法、観察のしかた－」

<http://www.iwateamt.or.jp/event/2990>

岩臨技 HP には他団体主催の研修会情報も掲載しています。

最新情報は岩臨技 HP、日臨技 HP をご覧ください。

岩臨技 HP <http://www.iwateamt.or.jp/archives/event>

日臨技 HP <https://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/EventPublic/Home.aspx>

（事前申し込みは日臨技 HP から）

タスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会

実技講習カリキュラム（岩手県：006）

タスク・シフト/シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会

タスク・シフト/シェアは臨床検査技師の手で



【開催日】 令和7年6月22日（日） 9:30-17:30

【場 所】 いわて県民情報交流センター（アイーナ）

【募集人数】 60名

【受講料】 会員 15,000円 非会員 40,000円（資料代含む）

【申込締切】 令和7年6月12日（木）

【入金締切】 令和7年6月12日（木）

<https://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/EventPublic/MhlwTaskShift.aspx>

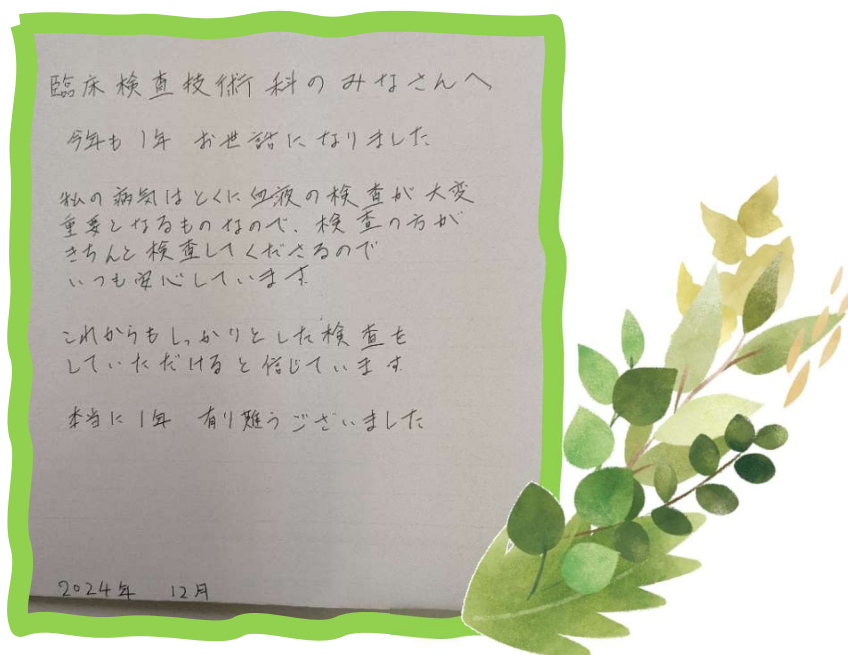
(い わ て)



患者様からの声



胆沢病院 菊地監事より情報提供いただきました
先日胆沢病院に患者様から感謝の投書がありました。
私自身、40年くらいこの仕事をしてきて、苦情とかクレームは聞いたことはありますが今回のようなことは初めてです。
臨床検査について知名度は低く、理解してくれている人は少ないと感じていましたので驚きました。
今後検査を生業としていく人や技師会活動をしていく上でもモチベーションアップにつながると思います。



～編集後記～

発行にあたりお忙しい中、原稿を寄せてくださった皆様ありがとうございました。
今年は巳年、古い皮を脱ぎ捨て新しい一步を踏み出せるといいなと思います。
寒い日が続きますが、皆様も体調管理に気を付けてお過ごしください。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(kuma)



会報「いわて」第351号 2025.1

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会
発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699